



A1 倶楽部

2013.4 陽春号

【発行所】

さとう栄一
後援会総連合会

〒321-0954

栃木県宇都宮市元今泉5-1-22

TEL.028-662-3300

FAX.028-662-5501

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

五年後の市民の幸せ・ 百年後の都市の繁栄

昨年11月の宇都宮市長選におきまして、皆様の力強いご支持・ご支援により、10万票を超える得票をいただき、誠にありがとうございました。再び51万の中核市の市長という大変重いお役目を頂戴し、新たな思いでこの4年間を務めてまいります。

現在、長引く不況により、宇都宮市でも税収の減少や若年者雇用の縮小、社会保障経費の増加など、厳しい状況が続いておりますが、国の「日本経済再生に向けた緊急総合経済対策」などの実施により、円安・株価上昇の傾向で景気回復の兆しが見え始め、今後、企業収益の回復や個人消費の増加などが見込まれ、市税収入の増加に期待がもてます。

行政課題である超高齢化社会や少子化による人口減少などに対し迅速かつ的確に対応する取り組みとして、高齢者の方が健康寿命を伸ばし、自立した生活ができる環境づくりや、子どもを安心して生み育て、質の高い教育環境の充実、更には地域内交通・バス路線・LRTによる公共交通が網羅され、車と自転車共存できる都市づくりなどを着実に前進させてまいります。

今後、宇都宮市が都市間競争に勝ち残れるよう、持続的に発展し「五年後の市民の幸せ、百年後の都市の繁栄」の実現に向けて、この4年間も全身全霊をかけて取り組み、宇都宮市の明るい未来を切り開いてまいりますので、今度とも皆様のより一層のご支援と、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

宇都宮市長 佐藤栄一

佐藤市長は有言実行

公約達成率95%

佐藤市長は2期目の公約に重点課題22項目を掲げ、21項目を達成しました。今、政治に求められているものは有言実行力ではないでしょうか？でたらめで耳障りの良い公約を並べ、当選後に検討したが難しいなど、当選するための公約では何の意味もありません。佐藤市長は今後も宇都宮市の身の丈に合った施策を提案し具体化・実行されるでしょう。

8年間の主な実績

- ◆小学校6年生までの医療費の完全無料化
- ◆妊婦の検診を14回まで補助
- ◆7年間の財政改革で160億円の経費削減
- ◆8年間で市職員611名の削減
- ◆もったいない全国大会を開催
- ◆巨人戦を清原球場に誘致
- ◆中心市街地活性化
- ◆ブランドメッセージ「住めば愉快だ宇都宮」の確立と普及促進
- ◆宇都宮の農畜産物を全国の物産展などでトップセールス
- ◆交通不便地域に、地域内交通の確保
- ◆最年少で栃木県市長会の会長に
- ◆ジャパンカップサイクルードレース「クリテリウム」を日本初開催
- ◆小中学校に司書を配置
- ◆震災被害にいち早く対応
- ◆小中学校の耐震補強と空調完備
- ◆J R 雀宮駅周辺の整備



マータイさんらゲストをお招きして、もったいない全国大会開催



市長の旧知の友を通じ「巨人戦」誘致



全国初「クリテリウム」開催



市長のトップセールスで売上げUP



100年繁栄まちづくり

戦後、資源もなく、領土も狭い日本が、ここまで繁栄することを誰が予想できたでしょうか？やはり一人ひとりの人間の質の高さと努力と根性で、繁栄してきたのではないのでしょうか？先進国として、高い技術と真面目な気質で海外に技術を提供してまいりました。しかし、バブルが崩壊し22年が経った今、人間力で繁栄してきたはずの日本人ですが、夢や希望をもたない方々が多くなってしまったのでは…。

人によって都市はつくられる、人の繁栄なくして都市の繁栄はあり得ません。何かのご縁で宇都宮で生まれ育ち、働き、出会い、みんなで夢のあるまち宇都宮を目指してがんばりましょう！

佐藤市長が全国青年市長会で表彰



全国青年市長会で表彰を受ける佐藤市長

平成24年6月6日、全国青年市長会主催の「特色ある施策2011」の表彰式が東京都内のホテルで行われ、宇都宮市の「自転車道のまち宇都宮の推進」が優秀施策に選ばれました。表彰を受けた佐藤市長は、「20年前から続く自転車ロードレース存続の議論の中で行き着いたのが、自転車の駅や自転車道整備などの施策。評価を受け心から感謝したい」とあいさつ。表彰は2年ごとに行われており、今年で6回目。今回は会員61市のうち32市が100施策を提案しました。宇都宮市は、アジア最高位の自転車競技レース「ジャパンカップサイクルードレース」の開催地であることなど、地域特性を生かし、人や環境にやさしい自転車を活用したまちづくりを推進している点が高く評価されました。

ジャパンカップ「クリテリウム」が全国で評価
優秀施策に「自転車のまち」宇都宮の推進

魅力ある教育環境

- ◆学校栄養職員数で全国1位
- ◆市立図書館の児童書蔵書数で全国1位
- ◆市立図書館の年間貸出数で全国2位

宇都宮市は平成24年度から、県内で初めて市内の全小中学校を対象に、小中一貫教育を開始しました。具体的には、すべての子どもに学力を保障するため、9年間を4（基礎期）3（活用期）2（発展期）に分けて、小中学校の円滑な接続を図るとともに、つまづきやすいところの時間をかけて指導できるようにしています。また、小中学校の教職員が相互乗り入れ授業やお互いの指導観を理解できるようにし、一人ひとりの子どもが十分に学校生活に適應できるような環境に期待ができます。



一人ひとりの子どもがのびやかに学習

小中一貫教育へ県内初

スポーツの街「宇都宮」の推進に大いに貢献した選手たちに市長特別賞を授与

増淵 倫巳選手



ロンドンパラリンピックの車いすバスケットボール競技に日本代表選手として出場した宇都宮市職員、増淵 倫巳さん（35）に平成24年9月25日、佐藤市長から市長特別賞が贈られました。佐藤市長は「障害者だけでなく、すべての市民に夢や希望を与えてくれた。協力するので、これからもバスケットを続けてください」と活躍をたたえました。

萩野 公介選手



ロンドンオリンピック競泳男子400m個人メドレーで、銅メダルを獲得した萩野 公介選手（18）に平成24年9月3日、佐藤市長から市長特別賞が贈られました。佐藤市長は「長年の苦勞と努力、精神の強さがメダリストになった要因。プレッシャーを感じているでしょうが飛躍してください」とエールを送りました。

柴田 あかね選手



佐藤市長は平成24年8月31日、ロンドンオリンピック女子日本代表の柴田 あかね選手（24）に市長特別賞を贈呈しました。柴田選手は、宇都宮市生まれで、県内の実業団チーム、グラクソ・スミスクラインに所属しています。ロンドンオリンピックでは9位と活躍しました。

安藤 梢選手・鮫島 彩選手



ロンドンオリンピックで銀メダルを獲得したサッカー女子日本代表の安藤 梢選手（30）と鮫島 彩選手（25）に平成24年8月22日、佐藤市長から市長特別賞が贈られました。2人はともに宇都宮市の出身で、子どもの頃は「河内SCジュベニール」に所属していました。

住み良いまちへ

東日本大震災を教訓に 防災対策を強化



現在、市の地域防災計画の見直し作業中ですが、地震発生時の条件を現行計画の最大震度6強から7に見直し、より災害に強いまちづくりを目指します。さらに、市内や市民への情報伝達手段の強化や避難所施設の安全対策、防災備蓄庫の増設、災害時医療救護体制の確保、放射線対策など39項目を新規強化策に盛り込み、危機管理体制の充実を図る方針です。

大通り全体を 景観形成重点地区に

宇都宮市は昨年10月、池上町交差点から宮の橋までの大通り全体を「景観形成重点地区」に指定しました。建築物の色彩やデザイン、緑化などのルールを定める地区で、大通りの一部・池上町地区については平成23年に指定しています。佐藤市長は「沿道の市民、事業者の協力の下、大谷石を活用した宇都宮らしさの演出、緑化による潤いづくりなどによって、良好な景観を誘導していきたい」と抱負を述べました。

重度心身障害者の 医療費助成を現物給付に

「重度心身障害者医療費助成制度」の助成方法を従来の償還払いから、医療機関窓口で無料になる現物給付にする制度。「制度を利用する障害者の利便性向上のため、あらゆる方法を検討し、制度対象者が前向きに生きていく環境をつくるのが行政の役割であり責任ですから」と佐藤市長は話す。※平成24年10月からの実施。

病院・受付で無料



開票日、投票締切の20時に当選確実が放送され
選対幹部の皆様と共に喜びの乾杯！



総決起大会では、会場が溢れるほど支持者の皆様
にお集まりいただき、ありがとうございました。

2012年11月18日施行

宇都宮市長選挙開票結果

① 100,858 佐藤 栄一 (51) 無任
41,678 河内 宏之 (62) 無新

ご支援 ありがとうございます



初登庁、市議会の先生方や職員に出迎えられ

3期目の選挙戦では公務もあり、思うような運動ができない中、たくさんの方々に支えていただきました。改めてご支持・ご支援を頂戴しました皆様から感謝申し上げます。私はこれまでの2期8年間、市政の発展と市民の幸せを第一に、さまざまな改革を積極的に進めてまいりました。その努力の成果として多くの分野で「全国1位」と評価されました。また、宇都宮市のブランドメッセージとして「住めば愉快だ宇都宮」も市民の皆様浸透し、愉快市民の誕生やロゴマークの活用で定着してまいりました。

3期目も更なる発展と繁栄を目指し、夢や希望がもてるまち「うつのみや」を市民の皆様と共につくり上げてまいります。ご支援をいただきました皆様に重ねて厚く御礼申し上げます。

活動報告

後援会長挨拶



さとう栄一 後援会総連合会
会長 中津 正修

佐藤市長は43歳の若さで初当選され、早いもので3期9年目を迎え、若くフレッシュな佐藤市長から、今では宇都宮市の顔として、強いリーダーシップを発揮され、この8年間の実績は高い評価をいただきました。これからも宇都宮市の発展と市民の幸せのために佐藤市長には大いに活躍していただき、明るい未来を切り開いてくれるでしょう。

この度、ご支援をいただきました皆様方には、今後ともご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



5月5日にツインリンクもてぎでRAN and BIKEが
開催、佐藤市長も参加し、会場を沸かせた

- 02/03 さとう栄一後援会総連合会・新春の集い
- 05/26 さとう栄一後援会総連合会・A1Club ゴルフコンペ
- 06/01 A1club 総会
- 06/05 青栄会・懇談会
- 06/21 さとう栄一後援会総連合会・役員会
- 09/29 佐藤栄一を囲む女性の集い
- 10/22 さとう栄一後援会総連合会・総決起大会



青栄会の皆様、更なる宇都宮発展のために佐藤
栄一市長と共にガンバろうと誓い合う



新春の集いでは、市議会の先生方に勢ぞろいして
いただき、佐藤市長へエールを送った。